

幼児向け環境教育プログラム体験会

活動を行う団体

佐世保市 <https://www.city.sasebo.lg.jp/kankyo/kansei/ivent.html>

(プロジェクトワイルド長崎県、九十九島ビジターセンター、佐世保私立幼稚園協会、佐世保市保育会と連携して実施)

活動の概要

幼稚園・保育園において幼児期から自然環境に触れる体験学習等を実践してもらえるよう、佐世保市内の幼稚園教諭及び保育士に、幼児向け環境教育プログラムを体験するための研修を行った。本研修は、佐世保市にある国立公園内にある「九十九島ビジターセンター」を会場とした。

本研修では、日常の保育等で実践できる幼児向け環境教育プログラム（屋外での活動、おにごっこをしながら環境教育、制作時間に使える環境教育等）の事例を紹介し、体験してもらった（以下はその例）。

○ジャングルゲーム（動物フィギア）

動物のフィギアを自分に見立てて、かくれんぼします。オニはその場から動かずにフィギアを探します。隠れる方は、体全体を隠すのではなく、目はオニを見ていなければなりません。逃げたり隠れたりする虫などの気持ちや、獲物を捕まえる大変さを体感する。



○カメさんの胃袋

紙袋をカメの胃袋に見立てて、何を食べるのかを考える。プラスチックなども食べてしまい、栄養失調で死んでしまうこともあり、子どもたちにできることを考えてもらうきっかけをつくる。



優良事例のポイント

普段の保育・教育の現場において、参加者がそれぞれの施設で実践してもらえるように、身近にある自然環境を活用できるプログラムを体験してもらっており、幼児から持続可能な社会づくりへの主体的な参加意欲を育むことにつながっている。また、国立公園の多様な生態系の保護、保育・教育の場として活用しており、地域への理解や愛着も促進している。

参加者には、体験会で行ったプログラムの活用状況や、環境に関する考え方の変化について体験会直後のアンケート及び約3か月後のフォローアップアンケートを実施し、本体験会での改善点の検討のほか、参加者自身の振り返りにも活用している。